

胃癌 18a

対象疾患: 進行・再発胃癌 (HER2 過剰発現あり)

【0318a】HER+Xelox 療法

※2 コース目以降(ハーセプチン 6mg/kg)は、「【0318】HER+Xelox 療法」を使用してください

【投与スケジュール】 1 コース=21 日(3 週)

1 コース

一般名	商品名	略号	投与量	1W	2W	3W
トラスツズマブ	ハーセプチン	HER,Tmab	8mg/kg (初回 8mg/kg 2 回目以降 6mg/kg)	↓ Day1		
オキサリプラチン	エルプラット	L-OHP	130mg/m ²	↓ Day1		
【内服】 カペシタビン	カペシタビン	Cape	2000mg/m ² /日 (2400~4200mg/日)	14 日間服用 (Day1 夕~Day15 朝)		7 日間 休薬

【注射薬投与日のタイムテーブル】

滴下順	薬品名	用量	投与時間
Day1			
①	生理食塩液 50mL	1 本	ルート確保用
②	ハーセプチン	8mg/kg (初回 8mg/kg 2 回目以降 6mg/kg)	90 分 (30 分まで短縮可)
	生理食塩液 250mL	1 本	
③	デカドロン 3.3mg/1mL	3 管	30 分
	グラニセトロンバッグ 3mg/100mL	1 本	
④	エルプラット	130mg/m ²	120 分
	5%ブドウ糖液 500mL	1 本	
⑤	生理食塩液 50mL	1 本	ルートリンス用

【ゼローダ(300mg/錠)用法・用量】

体表面積	1 日用量 (mg)	1 日用量 (錠)	用法
1.3 m ² 未満	2400mg	8 錠	1 日 2 回 朝・夕食後 2 週服用 1 週休薬 (※2)
1.36 m ² 以上 1.66 m ² 未満	3000mg	10 錠	
1.66 m ² 以上 1.96 m ² 未満	3600mg	12 錠	
1.96 m ² 以上	4200mg	14 錠	

(※) Day1 夕食後~Day15 朝食後服用、Day15 夕食後~Day22 朝食後休薬

催吐性	中等度リスク(30~90%)
組織傷害性	エルプラット:炎症性抗がん剤 ハーセプチン:非壊死性抗がん剤
代表的副作用	ハーセプチン >10%...Infusion Reaction(約40%) 1~10%...左室駆出率低下
	エルプラット >10%...悪心、嘔吐、末梢神経障害、感覚異常、疲労 1~10%...アレルギー反応
	カペシタビン >10%...悪心、食欲不振、下痢、口内炎、手足症候群、骨髄抑制

【注意事項】

(カペシタビン)

- レジメンセットに組んでありません。別途処方入力してください

(エルプラット)

- 塩化物を含む輸液との配合を避ける(溶解液は5%ブドウ糖液のみ可)
- 塩基性溶液との混和もしくは同じ点滴ラインを用いた同時投与は行わないこと

(ハーセプチン)

- 初回投与は90分投与とし、忍容性が良好ならば、2回目以降は30分に短縮可能である

レジメン登録承認	2016年12月6日 化学療法委員会
参考資料	Gong et al.BMC Cancer (2016) 16:68 Min-Hee Ryu et al.European Journal of Cancer 51(2015)482-488